イベント報告

スキー0が春を連れてきた

小千谷スキーオリエンテーリング大会　2012年3月4日 新潟県小千谷市

木村佳司

豪雪の 2012 年の雪国に久しぶりに顔を見せた太陽。そんな日に行われたスキーオリエンテーリング大会

2012 年 3 月 4 日（日）新潟県小千谷市
小千谷スキーオリエンテーリング大会

結果

MA			
1	黒田幹朗	0:57:52	アーク
2	宗形竜憲	1:02:00	二本松 OLC
3	柴田達真	1:09:16	アーク
WA			
1	高橋美和	0:29:06	アーク
2	大里真理子	0:46:34	アーク
MB			
1	武石雄市	0:26:21	山形県東根市
2	山田一善	0:27:40	多摩 OL
3	小林岳人	0:28:31	ES 関東 C
WB			
1	吉沢加奈子	0:25:36	小千谷市

優勝した黒田幹朗
（アークコミュニケーションズ）

今回の大会の入賞者たち
小千谷スキークラブの川合理事長を囲んで

豪雪の里

降っても、降っても止まない雪。毎日毎日雪かきの日々。雪かき中の事故が史上最悪を記録した 2012 年冬に、豪雪地・小千谷で行われた、このスキーオリエンテーリング大会。テレインの積雪は、3m はあるだろうか。競技会場となった野球場はすっぽりと雪の下に沈んでいる。

ところが大会直前になり天候は急激に好転、大会日には久しぶりの太陽を望む気候となった。ちょうどスキーオリエンテーリング大会が春の日差しを運んできたかのようだった。

難しいコンディション

豪雪で降り積もった雪が寒暖の差によって激しく変化する。日影では氷のように硬くなったままの雪であるが、日当たりのよい場所まで出ると、なかり緩んだ雪質になっている。場所によって激しく変化するコンディションはスキー操作が難しい。こんな中では実力者がその底力を発揮していた。

堀江か？ 黒田か？

男子 A では実力をつけてきた黒田が優勝した。今回・堀江との直接対決が見られるはずだったが、堀江がカゼで欠場。直接対決はおあずけとなった。

いよいよシーズンも終盤。3 月 17 日には伝統の J-cup が開催される。そして 3 月 24 日には第一回の全日本スキー 0 大会が行われる。予想では第一回日本チャンピオンの座は堀江か黒田の間で争われることになるだろう。

スーパーシニア・武石

男子 B では最年長参加者の武石が僅差で優勝。数日前までウクライナで行われた世界マスターズに参加したその力をここ新潟でも発揮した。恐るべし、じいじいパワー。

スキー伝来 100 年

日本にスキーが伝来したのは今から 101 年前。新潟県上越市高田の日本陸軍にオーストリアからの交換将校であるレルヒ少佐が指導したのが始まりである。その 1 年度には新潟県小千谷にもスキーが伝来した。この歴史をもとに新潟県では観光キャンペーンが行われている。

（木村佳司）